

議題（１） 令和３年度の状況について

資料 1

1 入館者数（開館日数）

月	開館日数	入館者数	備考
4月	26日間	3,034人	企画展「歴史へのいざない」開始（4/24～）
5月	26日間	2,100人	
6月	26日間	2,351人	企画展「歴史へのいざない」終了（～6/6）
7月	27日間	2,868人	企画展「戦時下の刈谷」開始（7/17～）
8月	26日間	3,118人	企画展「戦時下の刈谷」終了（～8/29）
9月	25日間	1,395人	
10月	27日間	3,255人	企画展「豊臣秀次」開始（10/9～）
11月	24日間	3,279人	企画展「豊臣秀次」終了（～11/21）
12月	24日間	1,409人	
1月	24日間	1,475人	
2月	23日間	1,272人	
3月	27日間	3,506人	
合計	305日間	29,062人	

4月29日（開館565日目） 9万人達成

8月26日（開館667日目） 10万人達成

1月6日（開館774日目） 11万人達成

2 企画展開催事業

刈谷やその周辺の地域の歴史に関して学ぶ機会や、遠方の歴史資料を借用公開することでさまざまな歴史資料に触れる機会を市民に提供。

(1) 歴史へのいざない-佐藤コレクションの魅力-

ア 会 期 令和3年4月24日(土)～6月6日(日) (開催日数38日間)

※令和2年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となり、令和3年度開催した。

イ 観 覧 料 無料

ウ 観覧者数 3,259人

エ 展示品数 45点

オ 印刷物 ポスター、チラシ、解説パンフレット

カ イベント 講演会

・5月4日(火・祝)「惟任(明智)光秀と丹波—その攻略と統治の展開—」

講師：柴裕之氏(東洋大学文学部非常勤講師)(聴講47人)

・5月29日(土)「秀吉と家康」

講師：跡部信氏(大阪城天守閣研究副主幹)(聴講42人)

展示説明会

・5月9日(日)

講師：山下智也(当館学芸員)(聴講23人)

この他に判じ絵クイズラリーや、簡単工作(組立絵を作ろう)を実施

(2) 戦時下の刈谷-人びとの暮らしと記憶-

ア 会 期 7月17日(土)～8月29日(日) (開催日数38日間)

※令和2年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となり、令和3年度開催した。

イ 観 覧 料 無料

ウ 観覧者数 4,099人

エ 展示品数 150点

オ 印刷物 ポスター、チラシ、解説パンフレット

カ イベント 講演会

・7月31日(土)座談会「戦時下での暮らしと、その後」

出演者：柘植豊徳氏(元小中学校教諭)、

山田孝氏(刈谷市文化財保護審議会会長)

コーディネーター：井筒康人(刈谷市郷土資料館学芸員)(聴講47人)

イベント

・8月7日(土)おはなし読み聞かせの会 全2回

協力：おたまじゃくしの会(参加延べ37人)

・8月22日(日)ミュージアムシアター「この世界の片隅に」上映 全2回

(参加延べ32人)

この他にギャラリートーク、郷土資料館と共催でクイズラリーを行った。

(3) 豊臣秀次－刈谷に新時代をもたらした関白殿下－

ア 会 期 令和3年10月9日(土)～11月21日(日) (開催日数38日間)

イ 観 覧 料 一般(高校生以上)300円、中学生以下・障害者及び付き添い1名は無料

ウ 観覧者数 3,522人

エ 展示品数 37点(重文2点、京都府指定2点、刈谷市指定5点含む)

オ 印刷物 ポスター、チラシ、図録(有料頒布、1冊1,000円)

カ イベント 講演会

・10月23日(土)「豊臣秀次と尾張・三河」

講師：播磨良紀氏(中京大学教授)(聴講64人)

・11月6日(土)「秀次切腹と豊臣政権」

講師：谷徹也氏(立命館大学准教授)(聴講63人)

展示説明会

・11月13日(土)

講師：山下智也(当館学芸員)(聴講23人)

イベント

・10月30日(土)「豊臣秀次が愛した“能楽”って何だろう？」中止

講師：愛知教育大学能楽部

この他に、ギャラリートークを実施した。

3 常設展開催事業

歴史ひろばのテーマ(刈谷の縄文時代、刈谷藩と城下町、刈谷発の近代化)ごとに刈谷の歴史に関する実物の資料を常時公開。また年4回展示替えを行い、展示替えごとにギャラリートークを行った。

(1) 特集展示 7月～9月「戦時下の刈谷」関連展示

(2) 展示替え 7月、10月、1月、3月

(3) ギャラリートーク参加人数 延べ13人

4 参加・体験型歴史文化教育普及事業

郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育むため、市民が歴史文化について学ぶ機会を創出。

(1) 歴史文化体験講座の開催

5月から毎月1回開催 (全10回)

参加人数 延べ319人

例) 香袋を作ろう(お香入門)、有松・鳴海絞り体験 など

(2) 簡単工作(土日祝)

はにわストラップ、オリジナルうちわ、折り紙「かきつばた」「寅」 など。

参加人数 延べ1,574人

(3) ミュージアムシアターの開催

ア 映画上映

企画展「戦時下の刈谷」関連イベントとして、映画「この世界の片隅に」を上映。

イ 講座室上映

刈谷ゆかりの人物や事柄、企画展に関する映像を上映した。

「ビデオ広報かりや カキツバタ」「刈谷偉人伝 水野勝成」など。

(4) 出前講座

教育委員会生涯学習課を通して依頼。学芸員が刈谷の歴史のテーマに沿って、依頼元で講座を行った。

(5) 古文書解読講座（初級編）

学芸員が交代で講師となり、1～3月にかけて全5回の連続講座を実施。

修了者 20人

(6) 特別イベント「甲冑まつり」を開催

現代の甲冑師が製作した甲冑を展示し、甲冑の仕組みなどに触れる機会を設けた。

会期：3月23日（水）～4月3日（日）

5 小中学生の館内見学・体験学習の支援

小中学生を対象に見学の機会を提供し、郷土の歴史文化に関する学習の支援。

(1) 中学校1年生の「歴史ひろば」「お祭りひろば」及びバックヤード見学（5～7月）

(2) 子ども歴史体験講座

歴史に関する話やクイズ、体験講座を開催。

6月1回 / 10～12月 全3回（連続講座）

(3) 夏休み子ども歴史相談

歴史に関する質問を学芸員が回答する機会を設けた。全2回

6 博物館事業の啓発・広報

(1) 歴史博物館ホームページ

展示やイベント、利用案内、交通アクセス等の情報を掲載。

(2) 市民だより

企画展や関連するイベント、歴史体験講座の案内等を随時掲載。

かわら版・歴史散歩（収蔵品を紹介、毎月1日号）。

(3) 博物館ニュース

企画展の案内や企画展に関する小論等を掲載。

年3回発行。9月末、12月末、3月末に発行。

(4) かわら版

夏休みに合わせたイベント周知のかわら版を市内小中学校に配布した。

また、かわら版を持参した人にオリジナルグッズを進呈。マグネット配布数：113件

(5) 年報

博物館の概要・組織、その年度の予算・実施事業・活動結果報告などを掲載。

10月1日に第2号を発行。(郷土資料館分と合冊)

またホームページにも掲載。

(6) 研究紀要 (有料)

刈谷の歴史に関わる調査研究や、博物館の活動成果を掲載。

3月31日に第2号を発行。

(7) 物品販売

当館開催の展覧会図録や刈谷市史、発掘成果報告書、市史関連DVD刈谷偉人伝等を販売し、調査・研究成果を広く普及・啓発。

当館PRのためオリジナルグッズを製作・販売。

7 市史資料整理活用事業

(1) 市内外に存在する資料の調査・収集・整理・保存

正覚寺所蔵資料、永源寺所蔵掛軸、亀城小学校の所蔵資料、ほか調査を行った。

(2) 収集資料の閲覧用紙焼本の製作

依佐美送信所文書 (一部)

(3) 資料閲覧室における閲覧対応

入室者数 延べ755件

閲覧者数 延べ143件

出納件数 延べ411件

8 発掘調査出土遺物整理活用事業

(1) 出土遺物の注記・接合作業

(2) 宅地建設等に伴う試掘、及び緊急発掘調査

(3) 発掘調査成果をまとめた報告書の刊行

(4) 井ヶ谷古窯群分布調査

9 資料の寄贈・寄託

(1) 個人宅や寺社等からの依頼による調査 20件

(2) 資料の寄贈・寄託手続き

寄贈22件 / 寄託 0件

10 資料の購入

資料収集方針に基づき、刈谷の歴史に関わる重要な資料を古書店等から購入。

・月岡芳年「月百姿 おもひきや...秀次」1点

・「関ヶ原合戦絵巻」上下2巻 (※8月に購入検討委員会を開催し、購入)

・「東宝双六」ほか 昭和30年代の双六 計8点

1.1 博物館資料の保存管理

- (1) 館内の適切な温湿度環境の維持及び虫害の防除（通年実施）
IPMの手法を用い、館内のモニタリングと虫害防除策を実施。
- (2) 収蔵品の修復、及び什器の制作
修復資料
 - ・稲垣錦莊筆「百事大吉図」
 - ・澤梅谷筆「山水図」
 - ・「大正新田開墾沿革の図」
- (3) 資料の燻蒸（令和3年度2回実施）
受贈資料を中心に、虫害の発生が懸念される資料に関して、環境負荷の少ない方法での燻蒸を実施。

1.2 学芸員による調査・研究

各自の専門分野を生かし、博物館資料や刈谷の歴史に関する調査・研究を行った。その成果の一部を常設展や企画展の展示、研究紀要にて発表。

研究紀要 第2号 目次

[論文]

- ・富士松村の成立と学校統廃合 井筒 康人

[資料紹介]

- ・刈谷市内に所在する重原藩（旧福島藩）藩主板倉重矩関係資料について
附「女御御入内御覚書之留」翻刻 長澤 慎二
- ・中島家文書所収 畠山氏関係および中近世移行期史料 山下 智也

[研究ノート]

- ・浮世絵における池鯉鮒宿の描かれ方について—東海道物を中心に— ... 永井 優香子
- ・刈谷市中条遺跡採集とされる石器について 野村 啓輔

1.3 郷土資料館との連携

郷土資料館における展示、歴史博物館常設展示において学芸員及び指導主事により連携を図った。また夏休みのイベントとして郷土資料館と連携してクイズラリーを行った。

1.4 その他

- (1) 団体見学・視察受入

教育	刈谷市新規採用教員、東郷町高嶺小学校、富士松南小学校、東刈谷小学校、知立市教育委員会、住吉小学校、朝日小学校、かりがね小学校、城のうさぎ保育園、桜花学園大学
研究会	南山大学人類学博物館フィールドワーク参加者
その他	知多市中部公民館、更生保護委員会、手話サークルもみじ、伊勢豊流礼法、熊老社会

(2) 刈谷城盛上げ隊の出演

エントランスロビー等でグリーティングを行い、来館者との触れ合いの場をもうけた。

実績 11回

(3) 来館者10万人達成イベント

歴史博物館の来館者が10万人を超えたことを記念し、8月28日にセレモニーを開催し、当日に来館した代表の家族に記念品を贈呈した。

(4) ミュージアムラリーに参加

近隣の美術館・博物館5館連携の“過去を調べて未来をさぐる” 「みらいの博物館（ミュージアム）ラリー」に参加

主催：高浜市やきものの里かわら美術館

期間：11月13日（土）～1月16日（日）

参加館：高浜市やきものの里かわら美術館、安城市歴史博物館、
西尾市岩瀬文庫、西尾市立一色学びの館

(5) 来館者アンケートの実施

・期間：通年【別紙1】

企画展「戦時下の刈谷」期間中アンケート【別紙2】

企画展「豊臣秀次」期間中アンケート【別紙3】

また期間限定でアンケート強化月間を設けた。

期間：7月17日（土）～8月22日（日）

対象：一般用（一般の回答者にオリジナルグッズを進呈）

小中学生用（特に進呈はなし）【別紙4】